

『復活の事実を叫ぶ人』 1コリント15：17-20

15:17 もしキリストがよみがえらなかったとすれば、あなたがたの信仰は空虚なものとなり、あなたがたは、いまなお罪の中にあることになる。

15:18 そうだとすると、キリストにあって眠った者たちは、滅んでしまったのである。

15:19 もしわたしたちが、この世の生活でキリストにあって単なる望みをいただいているだけだとすれば、わたしたちは、すべての人の中で最もあわれむべき存在となる。

15:20 しかし事実、キリストは眠っている者の初穂として、死人の中からよみがえったのである。

●序論

わたしたちが共有するもの、それがキリストの福音です。少しだけ本日お読みした15章の前半部分をまた拾い上げてお読みします。

15:1 兄弟たちよ。わたしが以前あなたがたに伝えた福音、あなたがたが受け入れ、それによって立ってきたあの福音を、思い起してもらいたい。

15:2 もしあなたがたが、いたずらに信じないで、わたしの宣べ伝えたとおりの言葉を固く守っておれば、この福音によって救われるのである。

15:3 わたしが最も大事なこととしてあなたがたに伝えたのは、わたし自身も受けたことであった。すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと、

15:4 そして葬られたこと、聖書に書いてあるとおり、三日目によみがえったこと、

15:5 ケパに現れ、次に、十二人に現れたことである。

15:6 そののち、五百人以上の兄弟たちに、同時に現れた。その中にはすでに眠った者たちもいるが、大多数はいまなお生存している。

世界中に宣べ伝えられた福音の内容はこれです。キリストの十字架と、そして今日テーマにある復活です。

これは最近だれかが思いついたものではなく、誰かがつくりだした空想物語でもありません。約2000年前に、歴史上に現れた神の御子イエス・キリストの十字架の死と復活の出来事と証しをもって語られる希望をつなぐメッセージなのです。

そしてこの希望は、2000年もの間、広がり続け、わたしたちの希望と確信となっているのです。

●本論

I. もしキリストの復活がなかったら

ここでコリントの教会が抱えていた一つの問題「復活の希望の否定」・・・

当時、イエス・キリストの十字架と復活を目撃した人たちがたくさんまだ生きていて、それを証言できていた、皆がそのキリストの復活を当たり前のように知っていました。

それは自分たちの復活の約束と希望に結び付けて信じられていなかったということです。彼らの中には、キリストはともかく自分たちのよみがえりなどあり得ないということです。

ですからこういう表現も同じところで語られています。

:13 もし死人の復活がないならば、キリストもよみがえらなかつたであろう。
:14 もしキリストがよみがえらなかつたとしたら、わたしたちの宣教はむなしく、あなたがたの信仰もまたむなし。

「信仰がむなしくなる」と言われています。では何ががむなしくなるというのか…

1) 罪のゆるしと解決がなくなってしまうんじゃないか。

15:17 もしキリストがよみがえらなかつたとすれば、あなたがたの信仰は空虚なものとなり、あなたがたは、いまなお罪の中にいることになるろう。

十字架があっても復活がないなら、それは空しいと語るのです。

これに対して、パウロはローマ人への手紙ではっきりと、わたしたちは罪から解放されていると証言します。

ローマ6:7 それは、すでに死んだ者（キリストを信じた者）は、罪から解放されているからである。

2) クリスチャンはむなしく滅んでしまったことになるのか？

15:18 そうだとすると、キリストにあって眠った者たちは、滅んでしまったのである

しかし、パウロは、やはり先ほどのローマ人への手紙で続けてこう記しています。

ローマ6:8 もしわたしたちが、キリストと共に死んだ（キリストを信じた）なら、また彼と共に生きることを信じる。

3) クリスチャンはただの夢物語を信じていることになるのか？

15:19 もしわたしたちが、この世の生活でキリストにあって単なる望みをいただいているだけだとすれば、わたしたちは、すべての人の中で最もあわれむべき存在となる。

昨年4人の方々を天に送り、その葬儀の中で、わたしは復活の希望を実感させていただきました。これは夢物語ではないという確信を、故人が抱いていた希望を、決して空しいものではなく、わたしたちにとって命に結ばれる希望であり約束であり、確信として皆さんと共有させていただいたのです。

…この確信は、聖書から来ます。

II. 事実キリストは復活した

:20 しかし事実、キリストは眠っている者の初穂として、死人の中からよみがえったのである。

現代訳) しかし、キリストは確かに死人の中から復活され、キリストを信じる者たちも、やがて復活するという大きな希望を与えられた。

ここにある表現、「しかし事実」というのは、「復活はない、私たちとは関係ない」と語る人たちに対して、「しかし神のなさったことは違うんだよ！」と告げる言葉です。

イエス・キリストの復活は、神さまが信じるわたしたちにもくださった、復活の約束に結ばれた出来事なのだ！と証言しているのです。

キリストを信じるクリスチャンにとって、イエスさまの復活とわたしたちの復活とは、切り離せない真実であり、わたしたちの信仰の中心です。

イエス様ご自身の言葉にこうあります。

ヨハネ11:25 …「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。

なぜ神のひとり子イエスさまが、わざわざ人となり、この地上を歩み、そして人々手によって十字架につけられ死なれ、また復活されたのか？

イエスさまの思いは、いつでも神さまの愛と赦しによって裏付けられていたのです。

ヨハネ3:16 神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

それが、だれであろうと御子イエス・キリストを信じるならば、裁きや滅びではなく、赦しと救い、そして永遠の命をくださる、それが神さまの思いの真実です。

パウロ自身が自分の体験としてそれを証言しています。

新共同訳で)

:8 そして最後に、月足らずで生まれたようなわたしにも現れました。

:9 わたしは、神の教会を迫害したのですから、使徒たちの中でもいちばん小さな者であり、使徒と呼ばれる値打ちのない者です。

:10 神の恵みによって今日のわたしがあるのです

同時代の人々は、クリスチャンの過激な迫害者だった時代の彼を知っていました。

そんな彼なのに、なぜイエスさまは、わざわざ彼に現れ、救われたのか、同時代の人々は不思議に思ったことでしょう。

しかし、聖書は語ります。「事実、イエスさまはパウロの前に現れたのだ！」と。これが神さまの愛であり、真実な恵みです。

…だからこう言えるのです。

Ⅲ. 神の愛によってしかわからない

すべての理解をおおう答えは、神さまがああパウロを、そして今の私たちを”愛してくださっているからだ”ということです。

あらわされたキリストの愛は、人々の過ちを覆うものです。弟子たちの裏切りを覆い、自分を十字架につけた人々の罪をも覆い、そしてすべての人の罪をも覆っています。

信じられないほど大きいその愛は、今のわたしたちをも覆うものです。

1ヨハネ4:10

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

この愛は、神さまはじまりだからこそ想像を超えて大きく、また真実なのです。

そして、その愛を受け入れる人、信じる人は、どんな人でも救われると。

ヨハネ3:15 それは彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためである。

コリントの信者たちは、復活の事柄を、自分たちの常識や、置かれている周囲の環境や状況によってはかり、その希望を捨ててしまおうとしていました。

パウロは、そんな彼らに豊かな神の愛と憐れみを示し、その愛で生かされている自分自身を示して、「復活の希望」は事実なのだ、と証言するのです。

これこそが、パウロが受け取った希望、生きる土台となっている福音なのです。

さいごに)

改めて申し上げます。わたしたちが思よりはるかに大きく豊かな神さまの愛の中に、わたしたちは招かれています。

わたしは昨年、最初に天に送った人はともみ先生のお父さんでした。

病床のある部屋を、そしてわたしたちを覆っていたのは、神さまの豊かな愛であったことを覚えています。

その場所で、お父さんも、わたしも何一つできることはありませんでした。

それでも、人間的な慰めの言葉以上の希望を共にする経験がそこにありました。

わたしたちの希望は、キリストを信じる者として神の子とされて、復活の希望によって生かされている喜びにあずかることだと覚えましょう。パウロはこうも語っています。

ローマ8:23-24a

8:23 …わたしたち自身も、心の内でうめきながら、子たる身分を授けられること、すなわち、からだのあがなわれることを待ち望んでいる。わたしたちは、この望みによって救われているのである。

「みなさんは、たしかに神さまに愛されています。」この神の愛の大きさを、わたしたちの常識や評価によってではなく、聖書を通して受け取ることができれば感謝です。

そうして復活の約束とその希望の中に歩みを定める者となりましょう。

15:20 しかし事実、キリストは眠っている者の初穂として、死人の中からよみがえったのである。